

部 局	市立豊中病院	補 職	病院事業管理者 総長 病院長	氏 名	直川俊彦 藤野裕士 岩橋博見
-----	--------	-----	----------------	-----	----------------

1. 部局の使命

地域の医療機関との連携を推進し、急性期医療を担う中核病院として、救急や小児・周産期、感染症などの政策医療、また、がん診療など高度で良質な医療を提供することで地域医療を支えます。こうした医療の質を確保・向上するためにも、公営企業として経営の効率性・効果性を高め、安定した運営を行います。

2. 使命を遂行するための取組み方針と、それに基づく取組みの総括

方針	取組みの総括
（１）医療面の充実強化から経営向上へとつなぐ好循環の確立をめざします。 ○緊急症例への対応強化 ○小児・周産期医療の充実 ○高度専門医療の充実強化 を医療面の重点事項とし、経営戦略と連動させることで、発展・成長への道筋を確かなものとしします。 （２）組織の使命を遂行するため、『市立豊中病院運営計画』（取組期間：令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度)）および同計画の中間見直し結果及び変革の展望に基づく加速化・強化事項（以下「加速化・強化」という。）をふまえ、病院運営ならびに変革に取り組みます。 （３）働き方改革の推進、5センターをはじめ職種・部門を超えた連携協力の推進などの取組みをとおして、病院運営ならびに変革の基盤となる人づくり・組織づくりを強化します。	【今年度末に記載】

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

当年度目標(当初設定)		実績				
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性			
1	急性期医療を中心とした医療機能の充実【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】			
	『豊中市医療体制』における当院の役割に沿って、「緊急症例への対応強化」「小児周産期医療の充実」「高度専門医療の充実強化」を進めるにあたり、以下の取り組みに注力します。 （１）手術件数の増（加速化・強化） ①がん手術 ・がん手術の広報・ブランディング強化 ・がん手術の実績と収益データ解析 ・ロボット支援手術の推進 ・がん手術患者の手術待ち時間短縮 ②緊急・休日手術実施システム確立による全身麻酔手術増 ③その他機器導入等による手術の増 ④手術件数増加に応じた薬学的ケアの実施 （２）疾患構成の見直し（加速化・強化） ①「増やす疾患」「減らす疾患」のモニタリング ②予定入院患者割合の増 ③病床稼働率の向上 ④病床の効率的かつ有効な活用のための病棟編成 （３）外来診療の変革（加速化・強化） ①外来診療改革チームによる検討開始 ②地域医療機関との機能分担、関係強化（紹介率・逆紹介率・新患比率・入院移行率向上） （４）近隣公立病院等との連携・役割分担の推進 ①豊能圏域公立病院意見交換会等での検討、取り組み （５）特定病院群内ベンチマーク等をふまえたステージアップの取り組み ①手術件数、救急受入、がん医療等の実績の維持・向上を図り、診療機能のさらなる強化につなげる （６）新たな高度専門医療の提供 ①遺伝診療の強化 ・遺伝性疾患等の診療における遺伝カウンセリング外来の充実 ・遺伝診療についての教育、研修、啓発活動の実施					
	総合計画					
	2-2-（3）			地域医療の充実を図ります		
	基本政策					
	40			豊中病院を阪大病院・国循とともに圏域の核となる高度医療機関に		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	地域連携の推進 患者・市民の方々にとって最適で最善の医療を提供するため、地域の医療機関・施設・関連主体等からの信頼を高め、連携を深めます。 （１）退院・転院の促進（加速化・強化） ①協定締結病院等のネットワーク強化 ・救急連携搬送、とよなかあんしんルート協定病院拡大 ・地域医療連携計画「大腿骨頸部骨折パス」の早期転院パス構築 ・慢性心不全、終末期、血液内科患者の病診連携パス構築 ・市立豊中病院ネット・WEB予約システムの利活用促進 （２）外来診療の变革（加速化・強化）【再掲】 ①外来診療改革チームによる検討開始 ②地域医療機関との機能分担、関係強化 （３）地域医療機関との機能分担・関係強化 ①疾患構成に基づく医療機関訪問 ②慢性心不全、終末期、血液内科患者の病診連携パスの構築 ③地域連携パス活用に関する情報共有 （４）近隣公立病院等との連携・役割分担の推進【再掲】 ①豊能圏域公立病院意見交換会・部会の実施 ②医療安全地域連携の取り組み ・医療安全地域連携の強化 ・看護協会医療安全委員会での審議内容を基盤に、地域連携会議でのブラッシュアップと臨床現場への展開 ・医療安全管理地域医連携加算に係る医療安全地域連携 ・5つの連携病院間での相互審査を通じ、信頼関係を促進 （５）地域包括ケアシステム関連主体との連携強化 ①身寄りのない高齢者に対する医療福祉連携の強化 ②豊中市薬剤師会との連携強化（入院時の持参薬管理効率化、薬剤管理サマリ発行、ICTを活用した情報連携等）	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	総合計画		
2-2- (3)	地域医療の充実を図ります		
基本政策			
40	豊中病院を阪大病院・国循とともに圏域の核となる高度医療機関に		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	医療の安全と患者サービスの向上	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	医療の質及び患者サービスを支えるハード、ソフト両面について、現状に留まることなく向上をめざし、課題解決に取り組みます。 （１）施設長寿命化・特定重点課題に対する整備方針策定 ①受変電設備の改修等及び手術等の件数増を可能とするハード面強化について検討、整備方針を策定 （２）クリニカルパスの改善継続と効果的な運用（加速化・強化） ①クリニカルパス利用率の向上 ②DPCⅡ期に合わせたパス再対応及び改定 （３）周知活動の強化 ①リーフレットリニューアル ②健康拠点デジタルサイネージ・病院版インスタグラム等を活用した情報発信の強化 （４）外来診療の変革（加速化・強化）【再掲】 ①外来診療改革チームによる検討開始 ②地域医療機関との機能分担、関係強化 ③外来診療プロセスの改善 ・外来診療前問診導入による医師のタスクシフト ・患者動線の見直し、診察・会計待ち時間短縮 ・患者向け受診支援サービス運用に向けたインフラ整備 ・後払いシステム運用開始 （５）患者支援体制の強化 ①入院時重症初期意思決定支援体制の再構築 （６）医療安全管理の強化 ①医療事故・コンフリクトマネジメントの強化 ・重大アクシデントに繋がる事象に対し、他職種との早期連携と要因分析・再発予防策策定等を実施 ②身体拘束最小化に向けての取り組み体制の再構築 ・認知症看護認定看護師と連携し身体拘束最小化に向けて体制を再構築		
総合計画			
2-2-（3）	地域医療の充実を図ります		
基本政策			
40	豊中病院を阪大病院・国循とともに圏域の核となる高度医療機関に		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	安定した経営基盤の確立【重点】 医療の向上と好循環の環をなす経営の向上のため、ポジションの確立、経営資源の充実等をとおして、収益的収支黒字化、資金の増をめざします。 (1) 疾患構成の見直し(加速化・強化)【再掲】 ①「増やす疾患」「減らす疾患」のモニタリング ②予定入院患者割合の増 ③病床稼働率の向上 (2) 費用抑制・費用回収の徹底(加速化・強化) ①医療資源投入量の適正化・材料費抑制 ・検査セット変更後の実施状況フォロー ・後発医薬品、バイオ後続品等への積極的な切り替え等 ②その他経費の抑制 ・機器保守契約等のさらなる見直し ・院内リユースの仕組み構築 ・不要となった機器の売り払いの実施 (3) 診療報酬における新規加算等の要件整備・算定 ①新設項目・既設未算定項目・加算増をめざす項目の抽出 ②認知症ケア加算1の算定に向け、認知症ケアチームの立ち上げ ③退院時リハビリテーション指導料等の算定数増加 ④休日実施の効果のある取り組みの実施検討・調整(リハビリ等) (4) 近隣公立病院等との連携・役割分担の推進【再掲】 ①豊能圏域公立病院意見交換会の枠組みを活用した材料費抑制 (5) 特定病院群内ベンチマーク等をふまえたステージアップの取り組み【再掲】 ①ベンチマークを活用し、手術件数、救急受入、がん医療等の実績の維持・向上を図り、診療機能のさらなる強化につなげる (6) 使用料・手数料等の改定 ①駐車場使用料の見直し ②自費料金の見直し(個室料、文書料、開示請求費用等)	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	総合計画		
	2-2- (3) 地域医療の充実を図ります		
基本政策			
40	豊中病院を阪大病院・国循とともに圏域の核となる高度医療機関に		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	人づくり・組織づくりの推進【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	最大の資産であり、変革の成否を決定づける人材力・組織力を向上させるためまね努力を行います。 （１）病院の今後の方向性に沿った医師採用のあり方 方針策定 （２）特定行為研修修了看護師等の計画的育成 ①特定行為研修指定機関の院内運営位置づけを整備 （３）動機づけ・達成・成長のサイクルが実感できる育成環境の整備 ①働きがいある職場づくり ②院内表彰制度の医師以外の職種への拡充 ③診療報酬改定が示す人材確保策に適合した給与制度の構築 ④その他動機づけのしくみ整備 ⑤研究および実践報告の院外発表の推進 ⑥教育研修の強化 （４）組織文化・組織風土の変革 ①「チャレンジ」「協力」をコンセプトにした具体的取り組みの実践と横展開 ②医療安全管理者・医療メディエーターの育成 ③資格認定取得への教育および支援体制の整備		
総合計画			
	2-2-（3） 地域医療の充実を図ります		
基本政策			
	40 豊中病院を阪大病院・国循とともに圏域の核となる高度医療機関に		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	働き方改革の推進・業務変革	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	働き方改革の取り組みに加え、既存業務について「創造的破壊」の発想をもって変革します。 （１）業務の変革（加速化・強化）～既存業務に対する「創造的破壊」～ ①業務のビルド&スクラップの徹底 ・（仮称）業務効率化・DX推進委員会およびプロジェクトチームの立ち上げ、業務効率化計画の策定 ・TOPICS定例会によるシステム更新残課題の整理及び業務の変革の継続的な検討 ・薬剤師会FAXコーナーをハブとした新たな薬薬連携 ・診療報酬改定（施設基準）に沿った業務内容の見直し ②DXの推進 ・看護記録、事務作業の省力化、勤務表自動作成の導入検討など、生成AIの利活用に向けた整備 ・RPAの利用の推進 ・薬局-患者支援室-病棟における薬剤情報の共有。薬剤情報のDX化の促進 （２）外来診療の変革（加速化・強化）【再掲】 ①業務スリム化 ・AI活用による業務の効率化 ・外来窓口における患者呼び出しの見直し ・入院当日支援で手続きと確認業務を一元化し、入院後業務の負担を軽減 （３）（上記をとおした）長時間勤務の是正 ①薬剤師から非薬剤師（事務職員）へのタスクシフト/シェアの実施		
総合計画			
2-2-（3）	地域医療の充実を図ります		
基本政策			
40	豊中病院を阪大病院・国循とともに圏域の核となる高度医療機関に		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	感染症・災害への対応力の維持向上	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	リスクへの備えとして、終わることなく止まることのできない取り組みを継続します。 （１）感染症病棟の改修整備　施設長寿命化方針にあわせた方向性の策定 ①必要となる整備等についての方向性策定 （２）災害対応訓練の内容強化による対応力アップデート ①災害等発生時の詳細状況把握 ②サイバー攻撃等による情報セキュリティインシデントの発生を想定した訓練の検討 ③部門ごとの机上訓練等を実施し、災害時の対応力を強化		
総合計画			
	2-2-（3） 地域医療の充実を図ります		
基本政策			
	40 豊中病院を阪大病院・国循とともに圏域の核となる高度医療機関に		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
8	変革の取り組み	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	今年度における短期の変革の達成をめざし、幹部主導型だけでなく、全職員参加型の運動へと拡げていきます。 （１）変革の展望にもとづく加速化・強化事項の完遂 ①加速化・強化ポイントの設定、実施、進捗管理 （２）テーマ別プロジェクトの推進（外来診療の変革 DX等） ①各診療科による疾患構成の見直し【再掲】 ②退院・転院の促進【再掲】 ③クリニカルパスの改善継続と効果的な運用【再掲】 ④外来診療の変革【再掲】 ⑤手術件数の増【再掲】 ⑥費用抑制、費用回収の徹底【再掲】 ⑦業務の変革～既存業務に対する「創造的破壊」～【再掲】		
総合計画			
2-2- (3)	地域医療の充実を図ります		
基本政策			
40	豊中病院を阪大病院・国循とともに圏域の核となる高度医療機関に		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
1	急性期医療を中心とした医療機能の充実		<スケジュール(工程)>	
	(1) 地域の急性期医療を担う中核病院として手術を含めた専門的な医療を充実させるとともに、救急医療を強化します。また、地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たし、質の高いがん医療を提供します。 ・救急医療の強化による緊急搬送の受け入れ増や地域医療機関からの緊急対応要請への確実な応答 ・がん手術、緊急手術の増加 ・医療DXの推進 ・調剤薬局との連携		①DPC特定病院・急性期拠点病院として地域医療におけるポジション確立(令和8年度(2026年度)～) ②市立豊中病院運営計画(令和5年度(2023年度)～9年度(2027年度))の推進 ③がん医療の充実強化(継続) ④当院の重点領域の強化、病院間機能集約に備えた取組み 当院の「強み」・「機会」等の分析に基づく重点機能連携の推進(継続) ⑤緊急手術・休日手術のシステム確立、全身麻酔手術の増(令和8年度(2026年度)～) ⑥外来診療のスリム化(令和8年度(2026年度)～) ⑦救急総合診療センターの設置(令和9年度(2027年度)) ⑧医療の質改善活動の継続(継続) ⑨救急病指定医療機関としての機能強化(継続)	
	(2) 医療DXの実現に向け、デジタル活用を中心に医療機能の充実を進めます。			
	総合計画			
	2-2- (3)	地域医療の充実を図ります		
2	基本政策			
	地域連携の推進		<スケジュール(工程)>	
	(1) 地域の医療機関との機能別役割分担と連携の強化を進め、当院が地域において、急性期医療や専門的医療を迅速に提供できる体制づくりに取り組みます。		継続して実施 ①適時・適切な退院・転院支援(継続) ・協定締結病院等のネットワーク強化	
	(2) 誰もが住み慣れた自宅や地域で自分らしく安心して生活ができるよう、地域の医療機関や介護事業者、教育施設等との連携により、医療面から生活をサポートすることで、地域包括ケアシステムに貢献します。地域の医療機関や各種施設への研修会・講習会等を通じて、地域の医療水準向上に寄与します。		②紹介率・逆紹介率の向上、「地域医療支援病院」基準の遵守 ③医療機関訪問の強化、充実した「返書」による報告の徹底 ④地域医療機関間の連携に関する医療DXの推進(「市立豊中病院ネット」普及拡大・活用手法等) ⑤多様な手法による病院間連携の強化(連携パスの活用等)	
	総合計画			
	2-2- (3)	地域医療の充実を図ります		
	基本政策			

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
3	医療の安全と患者サービスの向上 （１）安心して質の高い医療が受けられるよう、事故防止に向けた取り組みや職員の安全意識・対応能力向上、患者や家族のサポート体制強化など、安全な医療の提供に取り組めます。 （２）患者やその家族が安心して快適にサービスを受けることができるよう、職員の接遇能力向上や快適な院内環境を整備し、患者満足度の向上に取り組めます。		＜スケジュール（工程）＞ ①中長期的視点に立った施設保全の推進 ・旧リハビリ特定病床返還を契機とした救急・外来フロア等院内スペース再編の完了（令和9年度（2027年度）） ・特定重点課題に対する施設整備（令和9年度（2027年度）～） ②インシデント事例報告に基づく継続した改善（継続） ③「患者満足度調査」「患者の声」等に基づく改善活動の推進（継続） ・患者動線の見直し、待ち時間の短縮	
	総合計画			
	2-2-（3）	地域医療の充実を図ります		
	基本政策			
4	安定した経営基盤の確立 （１）DPC特定病院・急性期拠点病院として地域医療におけるポジション確立（令和8年度（2026年度）～） 当院が公立病院として、また地域の急性期医療を担う中核病院としての役割を果たしていくため、持続可能な経営基盤を確立し維持します。 ①救急医療の強化による、緊急搬送の受け入れ増や地域医療機関からの緊急対応要請への確実な応答 ②がん手術、緊急手術の増加 ③医療DXの推進 ④調剤薬局との連携		＜スケジュール（工程）＞ ①DPC特定病院・急性期拠点病院として地域医療におけるポジション確立（令和8年度（2026年度）～）【再掲】 ②収益的収支における内部要因赤字の解消（令和8年度（2027年度）、収支黒字化（令和9年度（2028年度）） ③収益の向上（継続） ・疾患構成の転換、DPCⅡ期超率の縮減等による診療単価の向上 ④費用の抑制（継続） ・医療資源投入量の適正化、その他材料費・経費の抑制（継続） ⑤診療報酬における新規加算等の要件整備・算定（令和8年度（2026年度）～）	
	総合計画			
	2-2-（3）	地域医療の充実を図ります		
	基本政策			

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
5	人づくり・組織づくりの推進 （１）職種毎のキャリア形成支援の仕組みを強化し、エンゲージメントの向上（成長できる組織という実感）を図ります。 （２）発展・成長にふさわしい組織文化・組織風土へと変革の取り組みを通して高めていきます。		＜スケジュール（工程）＞ ①人材育成プランに基づいた研修の実績管理と研修計画の策定（継続） ②組織目標管理を核とした組織マネジメントの強化（継続）	
	総合計画			
	2-2-（3）	地域医療の充実を図ります		
基本政策				
6	働き方の推進・業務変革 （１）医師の健康を確保するため労働環境の改善に取り組むとともに、すべての医療従事者それぞれが自らの能力を活かし、より能動的に対応できるよう働きがいのある 職場づくりに向けた取り組みを進め、良質な医療サービスを提供します。 （２）全職種にわたる業務効率化・デジタル化の推進を図ります。		＜スケジュール（工程）＞ 医師の働き方改革への対応 ①医師労働時間短縮計画の推進及び年次改定（継続） ②医師の時間外上限規制に係る「B水準」「C水準」の確実な実行（継続） ③長時間労働医師面談（継続） ④医師の働き方改革に関する研修（継続） ⑤タスクシフト・シェア（医師の仕事の一部を他の職種に移管）の推進（継続） ⑥業務のビルド&スクラップ（継続） ⑦AI・RPA等を活用した業務効率化（継続）	
	総合計画			
	2-2-（3）	地域医療の充実を図ります		
基本政策				

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
7	感染症・災害への対応力の維持向上		<スケジュール(工程)> ①新たな感染症流行拡大に備えた対応 ・医療措置協定に基づく対応 ・感染症病棟の改修整備(令和8年度(2026年度)～9年度(2027年度)) ②災害対応マニュアルのバージョンアップと訓練充実(継続) ③IT-BCPの策定 ④様々な災害・状況を想定したシステム対応マニュアルの整備・見直し(継続)	
	(1) 新型コロナウイルス感染症への対応で培った経験や知見を組織として定着させ、今後の感染拡大や新たな感染症の流行があった場合においても、市民の安心の拠り所となるよう公立病院としての責務を果たします。			
	(2) サイバーセキュリティ対策の充実・強化を図ります。			
	総合計画			
	2-2- (3)	地域医療の充実を図ります		
	基本政策			
8	変革の取り組み		<スケジュール(工程)> ①市の発展・成長の象徴の1つとして市民に支持される病院としての存続～2040年へ ②地域医療機関との役割分担・連携強化による市の施策に沿った医療の遂行と高度専門医療の提供(継続) ③特定病院群に位置する病院としてのポジション確立(令和8年度(2026年度)～) ④救急拡張等スペース再編完了(令和8年度(2026年度)) ⑤中長期的視点に立った施設保全の推進(令和8年度(2026年度)～)※病院建設に係る手法検討も含む ⑥資金の効果的・効率的運用(継続) ⑦専門人材の確保・育成(継続) ⑧病院事業会計における財務ガバナンスの強化(継続)	
	市の発展・成長の象徴のひとつ 市民に指示される病院として存続			
	(1) 2026経営戦略方針に掲げる変革の推進の取り組みを通じて、公立病院としての責務の遂行とともに、高度専門医療の提供において医療の質を向上させ、経営向上との好循環を創出します。			
	(2) 変革の推進において全庁的に実施すべき事項について、主体的に取り組み、市の発展・成長に貢献します。			
	総合計画			
	2-2- (3)	地域医療の充実を図ります		
	基本政策			